

Rotary

Rotary Opens
Opportunitiesロータリーは機会の扉を開く
2020～2021年度 ホルガー・クナーク RI会長テーマ

WEEKLY BULLETIN

2021年1月28日(3378例会)(創立70周年) 呉ロータリークラブ週報 NO.3292

■呉RC 2020～2021年度テーマ 「調和と未来への継承」

会 長 長 尾 正 嗣
副 会 長 長 行 事 義 人 幹 事 石 田 直 樹 会長エレクト 福 田 多 喜 二
直前会長 志々田幸治 会 計 畦 淳 造 会場監督 中 崎 誠

(事務局) 〒737-0045 呉市本通4丁目8-12 (例会場) 〒737-0051 呉市中央1丁目1-1 呉阪急ホテル
呉商工会議所ビル南館7階 705号室 ☎(0823)20-1111 FAX(0823)20-1120
☎(0823)24-4411 FAX(0823)21-5692 (例会日時) 毎週木曜日 12:30～13:30
E-mail▶kure3rc@urban.ne.jp HP/URL▶http://www.kurerotaryclub.jp My Rotary▶https://my.rotary.org/ja/user

今週のメインプログラム

次週のメインプログラム

故藤井清実会員 追悼例会

国際奉仕委員会 担当例会

外部講師

国連訓練調査研究所(ユニタール) 広島事務所
広島事務所 所長 隈元 美穂子様

第3377例会記録【1月7日(木)】

【プログラム】 ◇年男「丑」卓話

・松浦秀夫君…前回は2009年、入会して5年目で社会奉仕委員長。本年も社会奉仕委員会であることは御縁を思う。現在はコロナ禍の為、対外事業が出来ない状況にある。数年前からRIの運営方針が変わるなど変化があった。ローターアクトについても然りで、昨年は2つの委員会が1つの事業を手掛けるという新手法で取り組んだが、呉ローターアクトの終結という結果となったことは誠に残念であった。本年は辛牛。新しいチャレンジの年廻りとのこと。ロータリークラブもそうであるよう期待したい。

・大塩 俊君…当社は今年48歳。会社名は女性名詞なので当社は年女となる。(会社の沿革などの御案内。今後の課題「会社と社員のより良い関係をどう築いていくか」「会社は社員共同の生活の源泉であり、人間完成の道場である(佐藤千尋)」

【出席率】 前々回 90.63% 今回 83.08% (会員69名・欠席11名・免除4名)

【他クラブ出席者】 ◇海生(知)君(1/5呉南) 1名

【欠席者】 ◇沖田・海生(知)・神田(朗)・坂田・佐藤・下瀬・武田(信)・太刀掛・中野・長谷・山村君
11名

【出席免除者】 ◇大矢・奥川・海生(孝)・武田(信)君 4名

【会長報告】 ◇新年御挨拶…昨年は新型コロナウイルスに翻弄され、例会事業なども多く影響が出たが、皆さんの御協力で活動を続けることができた。困難はまだ続くと思われるがロータリーの友情と知恵と工夫で乗り越えていきたいと思う。

【幹事報告】 ◇RI…ROTARY 1月号

◇RI…ロータリーレート 1\$ = 104円

◇RI日本事務局…職業奉仕月間 リソースのご案内

◇RI日本事務局財団室…財団室ニュース 1月号

◇RI第2710地区事務局 協ガバナー…ガバナー月信1月号(配布)

◇広島中央ロータリークラブ…例会取消のお知らせ。1/18(月)1/25(月)クラブ定款による例会取消。
(新型コロナウイルス感染症防止のため)メークアップの受付は行いません。

【S.A.A】 ニコニコ



◇島村 充君…秘密の喜び事です。

*ミニニコニコを実施。

◎ニコニコ基金金額 51,500円(累計金額 924,000円)



敬 弔

故 藤 井 清 実 君

2020年（令和2年）11月18日 ご逝去

1997年（平成9年）7月3日 入 会

弔 辞

呉ロータリークラブを代表して、故藤井清実さんのご霊前に謹んでお別れの言葉を申し上げます。

藤井さん、あなたの突然の悲報に接し、わが耳を疑うとともに大きな動揺と深い悲しみに打ちひしがれております。奥様をはじめとする、ご親族のお悲しみは如何ばかりかと、心からお悔やみ申し上げます。

貴方は、平成9年7月3日に呉ロータリークラブに入会以来、23年にわたって終始熱心なロータリアンとして、誠心誠意奉仕活動に尽くしてこられました。

この間2012～2013年度には国際ロータリー第2710地区副代表幹事とロータリー財団委員長にもご就任され、2015～2016年度呉ロータリークラブ会長を始め、ほぼ全ての委員会の委員長を務められ、地区のみならず広く公共の為に尽くされました。また、大口寄付者メジャードナー、第10回米山功労者メジャードナー、22年100%出席など数々の表彰をも受賞され、次代の担い手である青少年育成にも力を入れていらっしゃいました。

そんな藤井さんから、病に侵されていることをお伺いしたのは、8年ほど前でした。幾度となく、奇跡的な回復をされて、例会でご尊顔を拝したとき、強い精神力と前向きなあなたの姿勢に心を揺さぶられたものです。

藤井さんと私は同期入会でした。そして藤井さんが会長をされたときに副会長をさせていただきました。みんなでカープの試合を見に行き、鈴木誠也の逆転サヨナラホームランみたとき、あきらめず応援していた藤井さんの顔を思い出します。そして病に侵され、闘病中の時でも、例会に来られた時の明るい笑顔を思い出します。みなさんとの交流をととても大切にされていた藤井さん、強いリーダーシップのもと我々を指導して下さった藤井さん、私たちは、貴方と共に楽しく過ごした思い出を大切にしながら、あなたのご意志を継ぎ、ロータリーの「奉仕の理想」に向かい、心を合わせて活動して参りますことをご霊前にお誓い申し上げます。

貴方が私たちのために示して下さったすべてのことに感謝し、在りし日の面影を偲び、あなたのこよなく愛されたご遺族と、あなたをこよなくお慕い申し上げます。呉ロータリークラブをお見守り下さいますよう心からお願い申し上げます、お別れの言葉とさせていただきます。

合 掌

令和3年1月28日

呉ロータリークラブ
会 長 長尾 正嗣

藤井 清実さんを悼む

広報・クラブ週報委員会

入会以来23年余り、呉ロータリークラブを支えてこられたビルックス株式会社顧問の藤井清実さんが67歳という若さで逝去されました。生前のご功績を振り返り、親しかった会員からのお別れの言葉を交えて週報の追悼号としてお届けします。



ロータリー設立 111 周年記念 4RC 合同例会にて
(2016年2月)

【藤井清実さんの足跡】

藤井清実さんは呉市のご出身で、1979年に近畿大学工学部を卒業し、家業である株式会社呉ビル管理（現ビルックス株式会社）に入社されました。貯水槽の清掃からボーリング場の床ワックス、空気環境の測定など現場の仕事を幅広く経験された後、1991年に取締役に就任。2007年に代表取締役に就任され、2017年からは顧問を務められていました。

社長時代には2008年からの大和ミュージアムの指定管理に参入するなど新しい分野にも挑戦し、ビルックスの成長に貢献されました。仕事の実行には厳しさを見せる半面、「社員の誰ひとり怒られたことがない」という温かみのある人柄が社内外の多くの人々に慕われました。

企業人としての社会貢献では呉青年会議所（JC）の活動に打ち込まれたほか、呉法人会の青年部会長時代には、JC同士の縁を生かして高知との交流の懸け橋をつくるなど力を尽くされました。またビルックスから初めて呉ロータリークラブに入会し、各委員長を歴任されたほか、2004～05年度には重責の幹事を務めるなど活躍されました。

がんと診断されたのは2012年に受けた検診でした。しかし社長としてのお仕事を担いつつ、2015～16年度の呉ロータリーの会長に推され、大役を果たされました。22年間、100%出席を続けた呉ロータリーでは、ゴルフ同好会をはじめ、さまざまな親睦活動で会員との交流を深められました。闘病8年、最後まで当クラブに思いを寄せていただいた藤井さんが残した多くのものを、あらためて思い返し、追悼したいと思います。

【藤井 清実さんの略歴】

| | | |
|---------------|--------|----------------------|
| 昭和28 (1953) 年 | 5月11日 | 出生 |
| 54 (1979) 年 | | 近畿大学工学部卒、株式会社呉ビル管理入社 |
| 平成3 (1991) 年 | | 取締役就任 |
| 4 (1992) 年 | | 専務取締役就任 |
| 15 (2003) 年 | | ビルックス株式会社に社名変更 |
| 19 (2007) 年 | | 代表取締役就任 |
| 29 (2017) 年 | | 顧問就任 |
| 令和2 (2020) 年 | 11月18日 | 永眠 |

ロータリー歴

| | |
|-----------|----------------|
| 1997年7月3日 | 呉ロータリークラブ入会 |
| 98～99年度 | 呉ローターアクト委員長 |
| 99～2000年度 | 副幹事 |
| 2000～01年度 | 親睦活動委員長 |
| 02～03年度 | 青少年奉仕委員長 |
| 04～05年度 | 幹事 |
| 06～07年度 | 会場監督 (SAA) 委員長 |
| 08～09年度 | ロータリー財団委員長 |
| 10～11年度 | 国際奉仕委員長 |
| 11～12年度 | ロータリー情報研修委員長 |
| 12～13年度 | 第2710地区副代表幹事ほか |
| 14～15年度 | 会長エレクト |
| 15～16年度 | 会長 |



2015年12月の家族例会で順子夫人、長尾副会長、神田幹事らと



65周年記念式典で2010～2011年度
梶山泰久会長に感謝状の贈呈

藤井清実君 送別の辞

大島 淳稔

清実ちゃん、23年のロータリー生活 アツという間だったね。お疲れ様なんてことは、これっぽっちも言うつもりもない。本当に楽しいかぎりだった。周りの人々を気遣う思いやりとやさしさに満ちた笑顔で、いつもロータリークラブを友愛に満ちた温かみのあるものにしてくれた。君はムードメーカーなんてものではない、我ら呉ロータリークラブの親睦の柱だった。

ロータリーでは会長はじめ色んなお世話をしたね。呉クラブならず地区役員もやってたくさんのご縁を結び、多くの清実ちゃんファンを作っていたと思う。だからどこに行っても清実ちゃんの周りには人が集まってきた。

また、いつも積極的で前向きそして気骨の人だったね。率先垂範でいつも先頭を走って呉クラブを引っ張っていた。みんなの前では決して病気の事で泣き言・愚痴ることはなかった。平然と自分の病気の経過をまるで他人の事のように話すのには、こっちの方が真っ青になりいつも驚かされた。

それと家族思いだ。病気を発症してからは家族に何がしてあげるか、なにを残せるか、いつも考えていた。思い出づくりだと言っては食事や旅行に出かけ、共有できる時間を本当に大事にしていたね。「この病気の良さは、たっぷりと終活ができることだよ。できることはほとんどできた。戒名も持てたし思い出も十分できた。」と笑顔で言う君に、芯のある男だなと思ったが、返答のしようがなかった。

3年前、僕がロータリーを辞めるといった時、「なにを言よーるん。例会の時はわしが隣に座るけー来いよ」と言われてしまった。清実ちゃんの方が大変なのに……。よし僕も清実ちゃんを支えないとの思いで二人の二人三脚がはじまった。

なのに君はいなくなった。寂しいというより心細い感じだ。この病の10年、君の生きざまを見させてもらった。凄い・立派だったというよりもカッコ良かった、スマートだった。

最後に言いたい、「清実ちゃん いつも笑顔をありがとう。また一杯やらんかい」

清実君のこと

島村 充

藤井清実君は平成9年7月の入会でその年の新会員歓迎会で初めて私と話したのだと言う。最初から気が合っただけ、と言う。私の記憶では、宮中君と二人で新会員らしく注いで廻ってきたと思うが宮中君のことは言わずただ自分と私が気が合ったことをのみ言うのだ。確かに人は気が合うということはあるし、それは、彼が次男で私が三男という〈生い立ち〉に関わるものがあるかもしれないなどと考えるが、人と付き合うということを良く判っているらしい彼は、頼まれて断ることをしない（と私は観ているが定かではない）性格から人に好かれ支持されることは大いにあるだろうと察していた。

ある時突然に私が会長する時は幹事すると言う。へえ、それは有難いねと返したが、私の会長はその頃あるはずもなく、そのうちに彼は矢野先生の会長の折に幹事を引き受けることになった。例会だったか夜の集まりだったか忘れたが、始まる前に、随分申し訳ない顔で現れたので、決まった？と言うと、本当にすみませんという答で、済むも済まないもなくおめでたいねと言うと、ニコッと笑った、そういう時の笑顔は忘れ難いものだった。

何しろ宴会を断らないので、私が出る会にはほとんど居たが、同じテーブルに座ると、私の不得意なところはカバーして守ってくれていたように感じる。私は彼が泣くのを一度見たが、それは父親として泣いたので、まったく素晴らしい泣き顔だったが、それを言うと嫌がる、昨今流行らない男らしい男だった。

ロータリーの例会には笑い声が必要だ、この、不快な日常を送らざるを得なくなった今こそ彼の笑い声が必要なのだが。彼が最も得意で彼のロータリー観を集約する奉仕が親睦活動であったことを想えばなおさらのこと、無念であり、くやしい気持ちが去らない。清実君の魂よ、安らかであれ。

藤井清実さんを想う

神田 健治

藤井清実さんのご冥福をお祈りいたします。

例会訪問初日、大之木精二さんに付き添っていただき会場に入ったとき「かんちゃん、待ってったんよ」と気軽に声をかけてもらい、フッと緊張感が和らいだのを今でも思い出します。

藤井清実さんとの思い出は多くありすぎて語りつくせませんが、藤井語録の一部を紹介しようと思います。

一. 親睦あつてのロータリー活動

いつも親睦を大切にされていたことは皆さんもご存じのとおりですが、藤井さんは誰よりもRCの事を勉強し熟知されていたからこそその言葉です。きっと呉RCの仲間は同じ高みを見ている方々なのだからと感じているからこそ親睦を図り更なる高みを考えていたと思います。

二. ならぬものはならぬものです

会津藩「什の掟」の末文です。正義感に溢れ、曲がったことを嫌悪する藤井さんを象徴する言葉です。

三. いい仲間といい酒があれば最高に幸せ

よく耳にした方々も多いと思いますが、呉RCの仲間に対する本音の言葉。藤井さんのRC愛が私にもひしひしと感じ取れました。常に明るく豪快に笑い、よく食べよく飲み底なしの胃袋を幾度となく見せていただきました。時にはまだ行くの？なんて思ったこともあります…

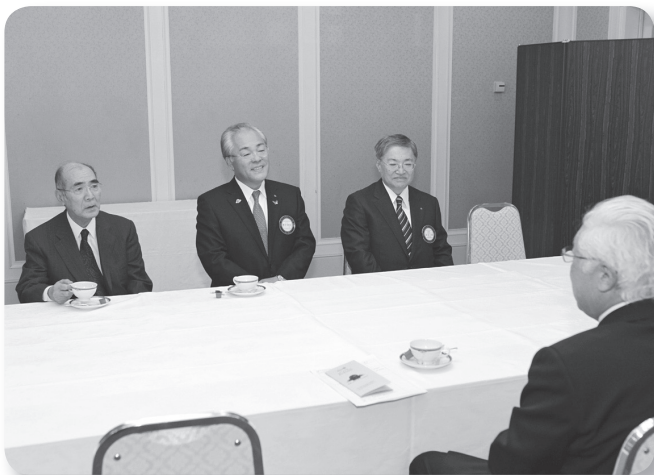
四. 親は子供を叱れない

これは飲みの帰路、タクシーのなかでよく言われていたと記憶しております。よくある経営者としての父とその従業員である息子の話ですが「社長が叱ると従業員である息子は、頭では理解するものの反発したりすることがある。しかし同じことを父親の友人などから注意をされると案外とすんなりと納得することがある。だからこそ仲間の子供は父親ではなく父親の仲間が叱るのがいいと思う」などと云う趣旨です。なるほど心理だなあーと今でも感じ入っています。

五. etc.

思い返せばまだまだたくさんのお話を学ばせていただきました。藤井清実さんの考えられていた高みは、未熟な私には図り知れませんがこれから一步一步追いつきたいと思います。

まずは親睦メインで !! (笑うところです)



2015～2016年度 東ガバナーと歓談



2016年ロータリー国際大会ソウル（韓国）にて

父の思い出

藤井 啓

2020年11月18日に私の父、藤井清実は永眠しました。2012年にガンを発症してから8年もの間闘病した父は、最後まで家族、親族、友人を大切に思い、行動する人でした。

病床から起き上がれなくなってからも会う度しっかりと手を握り、「しっかり頼むぞ、母さんをよろしく」と、私の妻には「夫婦仲良く」と、何度も真剣に語っていました。そうやって沢山の方へ気持ちを伝えながら死と向き合っていました。

父との一番の思い出は私がスポーツ少年団で野球をしていた頃のことです。父はどういうわけか私の友人たちに親分と呼ばれており、「親分乗せて」と私の車は友達でいっぱいでした。賑やかな車内は楽しくて、いつもあっという間に到着しました。

キャンプや釣り、旅行が好きな父は、夏は海、冬はスキーといろいろな経験をさせてくれました。私が今アウトドア好きなのも父の影響が多にあると思います。

父は、会社は会社、家庭は家庭という考えの人でした。入社して初めて会社での姿、仕事に対する厳しい姿勢に触れることになり、家庭とは違う父の姿に衝撃を受けました。私が入社してからは、帰りの車の中で仕事の話をするようになったことも嬉しい変化でした。

もちろん職場での父も厳しいばかりでなく、当時の写真を見ると、従業員と忘年会で和やかに過ごす様子がよく分かり、周囲の方からもムードメーカーだと伺っていました。

私が所属する法人会青年部では、父が部長時代に初提携した高知に出向くことも多く、その際は豪快な酒飲み伝説と共に「清実さんの息子か」と方々から声をかけていただきました。父を語る方たちは一様に笑顔でした。

ロータリーの会長を受けてほしいという話があった時は、大変光栄で嬉しいことだが健康に不安があった為、受けていいものだろうか葛藤があったようです。会長年度の役員の方々に支えていただき、無事に終わることができたと喜んでいました。ロータリーメンバーの皆様は、謙虚で立派な人ばかりで勉強になり、なによりもメンバーと交流することが楽しいと常々言っていました。お世話になった方々に恩返しをしたいと常々言っていました。できずに旅立った父は、残念に思っている事でしょう。

目に鮮やかな新緑の5月、父の誕生日は毎年家族で集まります。その日の乾杯は父の「妻ができ、息子が生まれ、娘が生まれ、まず4人になった。それから子供たちが結婚し、また家族が増えた。孫が一人増え、二人増え、三人増え、四人になり、今日この日集まったみんなが家族」という言葉で一人一人を見つめて始まります。次の五月、父のその言葉を聞くことは叶いませんが、父の遺志を受け継ぎ、これからの家族の団結と幸せを考える日にしたいと思います。皆様も藤井清実との思い出の日には是非、父へと思いを馳せて頂けたら幸いです。

(ビルックス株式会社 取締役経営管理部長)